

二〇二〇年二月一八日(参加者一五名)

ジェット機の芽吹きを森を抜け離陸
 うららかやパドックの馬よそ見して
 初馬券何やらうれし春競馬
 覆面のやつが穴馬春競馬
 うららかや馬場を均すは竹箒
 離陸機の青空に消ゆ競馬場
 春浅し馬場やや重とアナウンス
 覆面に闘志を隠す競走馬
 温かやパドックに人集まり来
 砂塵撒きあげてゴールや競べ馬
 春うらら広々と馬場一望す
 勝馬にありがとうと手を上げる人
 春風に乗る発走のファンファーレ
 春光を浴びて艶めく馬の尻
 ゴール前声姦しき春競馬
 予想せし馬は一等風光る
 カラフルな覆面馬や春競馬
 見るだけで馬券は買はず春うらら

明日香
 明日香
 明日香
 明日香
 せいじ
 せいじ
 せいじ
 せいじ
 せいじ
 わかば
 わかば
 わかば
 わかば
 わかば
 わかば
 わかば
 たか子
 たか子
 たか子
 和子
 和子
 和子

寒鴉右派左派別れ鉄塔に
 競馬新聞を睨みて日向ぼこ
 春光を背にパドックの馬定め
 ドドドッと啓蟄蹴つて競べ馬
 離陸機のひきもきらずよ山笑ふ
 草競馬予想的中山笑ふ
 着膨れてパドックの前譲らざる
 パドックに鼻息あらしき春の駒
 パドックに予想姦し春隣
 競馬紙と睨めっこするマスクかな
 閉ざされし門の奥処に初桜
 浅春の雲足速し草競馬
 競馬買ふ耳に赤ペン冬帽子
 しやつくりの止まらぬ赤子山笑ふ

うつぎ
 うつぎ
 小袖
 小袖
 はく子
 はく子
 はく子
 ぼんこ
 ぼんこ
 よう子
 よう子
 よう子
 素秀
 素秀
 素秀
 菜々
 菜々
 菜々
 宏虎
 宏虎
 宏虎
 もとこ
 もとこ
 もとこ

定例句会みのる選

二〇二〇年二月一八日(参加者一五名)